

課題対応取組み報告書

名称	住之江区加賀屋地域総合相談窓口
提出日	令和6年6月20日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等 <input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 社会資源の創設 (居場所づくり等) <input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	・地域関係者との関係構築。あつたかネット推進員と協力し地縁団体、関係者と各地域の困りごとなど共有できる場を作り関係強化に取り組む	
地域ケア会議から 見えてきた課題	・気になる高齢者がいても、地域住民自らが声をかけづらかったり、関係性がないことで躊躇し、時間が経過してしまい重篤化していることもあった。 ・初期段階での相談や、早期の発見、早期の介入の重要性を再考させられた。	
対象	・地域関係者 (町会、民生委員、あつたかネット推進員、見守り相談室等)、地域住民、自治会など	
地域特性	・高層マンションや公営住宅、商業地域と工場地域があり、公営住宅の高齢化、近隣のかかわりの希薄化、工場地域の人口減少など、地域によって違いがある。また、町会からの脱会地域が増えている。	
活動目標	・気軽に相談できる場所の認知度を高める。 ・地域関係者と定期的な会議の開催を継続し、情報収集、課題の整理や、解決策などを相談する場を作る。	
活動内容 (具体的取組み)	・加賀屋地域においてはネットワーク委員会の開催を継続し幅広くメンバー構成を行う。 (町会・民生委員・更生保護女性会・病院関係者・社会福祉協議会・見守り相談室・まちづくり協力隊・地域住民・あつたかネット推進員・地域包括支援センター (以下「包括」という)・総合相談窓口 (ランチ) (以下「ランチ」という)) 各部門、地域の活動や動きを情報共有し、困りごとに対して提案を行い具体策等協議している。 ・加賀屋東地域においては構成ができず、あつたかネット推進員を主に、個別で地域住民の課題相談や地域で気になっていることの相談を受け、解決に向けて協力した。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	・関係者と定期的集まることで、地域の情報収集ができ、課題を共有することができた。 ・個別の事案でも、地域との関係ができたことで速やかに連携がとれ、ケア会議への参加要請も手早くできた。 ・解決のための役割分担、地域資源へのつなぎや、住民協力も増えた。	
今後の課題	・町会から抜ける地域が増えており、主となる関係者とのつながる方法を検討する必要がある ・包括や、ランチの認知度を高め、活動の新たな配信方法を検討する。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和6年7月18日 (木)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input type="checkbox"/> 浸透性・拡張性 <input type="checkbox"/> 専門性 <input checked="" type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目 (特性) についてのコメント * 今後の取組み継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。	・こつこつやっている、深めている、継続性あり。町会未加入の地域がまとめていく中で、独自に地域の人達をどうつなげるか方法を考えている。	